

# 障害児教育の充実を求める

2023年「神奈川県議会署名」と「教育全国署名」

にご協力をお願いします。

今年も全国各地で、教育要求実現をめざす運動がくりひろげられています。神奈川県でも「神奈川県議会署名（ゆきとどいた神奈川の障害児教育を求める陳情書）」と「教育全国署名（20人学級を展望した少人数学級、教育予算増額、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善）」の2つの署名にとりくんでいます。

これらは、県立特別支援学校の教職員、保護者の方々や県内外の障害児・者団体とも力を合わせた運動としてすすめています。

障害児教育の充実のために署名へのご協力を心よりお願いいたします。

署名用紙は2023年11月末までにご返送をお願いします。

ゆきとどいた障害児教育をすすめる神奈川県民の会

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-1 農機会館402

TEL：045(412)5161 FAX：045(412)5162

HP：www.shinsyokyo.org



\*署名用紙はホームページよりダウンロードできます。

## < 県内特別支援学校からの声 >



- ・特別教室を教室として転用している。
- ・トイレを着替え場所になっている。
- ・更衣室がない。
- ・個別学習のための部屋、クールダウンのための部屋がない。
- ・教室不足で図書室が食堂になってしまった。
- ・車いすが教室に入らず、廊下にあふれてしまい、通行の妨げになる。
- ・多くの生徒が一室にいるので、お互いの行動が気になり、ピリピリしている。
- ・広い教室がないので、学年で行う授業は廊下や玄関で行っている。
- ・音楽室がなく、楽器の運搬・設置で授業がつぶれる。
- ・スクールバスの出発と放課後デイサービスの車で駐車場が大混雑。保護者の車が入れない。

# 2022年度の大きな前進

☆新設校・増築建設予定決定

☆医療的ケア児支援のための環境整備

☆体育館空調整備の前進、学校施設機能改善事業費の増額

☆皆様のご協力によりできた「特別支援学校設置基準」は2023年4月から全面施行になりました。この設置基準策定を受け、神奈川県は2校の特別支援学校新設と1校の増築を決めていましたが、このたびその具体的な計画が発表になりました。

## ■川崎南部方面校<知的障害教育部門>

川崎市立河原町小学校跡地（川崎市幸区河原町） 2029年度開校

## ■横浜東部方面校<肢体・知的併置>

横浜市立菅田小学校跡地（横浜市神奈川区菅田町） 2030年度開校

## ■湘南地域校<肢体不自由教育部門の増設>

県立藤沢支援学校（藤沢市亀井野） 2028年度募集開始

今年から設置基準は全面施行されたはずなのに、新校建設は5～7年後です。しかもこの設置基準は既存校には当面適用されないという但し書きがついています。今いる子どもたちのために既存校にも早期に適用されるようにすること、特別支援学校の過大過密状況を改善できるように、1校あたり的人数と通学時間の上限を決めること等が必要です。

☆2023年度予算に「医療的ケア児支援のための環境整備」として2億8146万円が計上され、看護師の増員(3名)と福祉車両等を活用した通学支援(40台増車)が決まりましたが、神奈川の看護師配置は全国基準を大きく下回っています。

看護師1人あたりの医療的ケアのある通学生 \*文部科学省2021年医療的ケアの調査より

<全国平均>6482人/2534人=2.56人 <神奈川>499人/113人=4.42人

## 深刻な神奈川の教員不足・未配置

教員不足は全国的な課題ですが、神奈川の今年の状況は特に深刻で、東京都・横浜市など近隣よりも深刻な実態があります。

<数字は5月1日現在、県人事課発表。小・中は政令市を除く、高・特支は県立校のみ。>

|       | 小学校 | 中学校 | 高校 | 特別支援学校    | 合計         |
|-------|-----|-----|----|-----------|------------|
| 2022年 | 76  | 38  | 9  | 22<br>↓   | 145<br>↓   |
| 2023年 | 102 | 44  | 11 | <b>77</b> | <b>234</b> |

特別支援学校の77名は全教職員の2.4%にのぼり、小(1.1%)・中(0.8%)・高(0.1%)よりも圧倒的に悪く、1校で7名も教員が足りない学校があります。署名の力で改善してください。